

川崎医療福祉大学

ボランティアセンターだより



INDEX

特集：学生スタッフの最近の活動

- 中庄クリーンアップ作戦／大学生災害ボランティア研修会 …… 2
- 花壇の花植えに参加して …… 3
- 大学生ボランティアセンター交流会に参加して …… 4
- おにぎりアクション 2024 に参加して …… 4
- 盲導犬育成募金 に参加して …… 5

ボランティアセンターの紹介

- 学生スタッフの活動／ボランティア情報を知るには …… 6

Vol.15

2025 年 4 月

中庄クリーンアップ作戦



ボランティアセンター副センター長 門利 知美

2024年度は5月17日(金)と11月22日(金)に中庄クリーンアップ作戦を実施しました。学生生活委員の先生にもご協力いただき、ボランティアセンター学生スタッフと教職員、ボランティア応募学生、部・同好会の代表者が参加しました。参加者は清掃ルートやゴミの分別方法などの説明を受けた後、3班に分かれて大学周辺（二子地域、中庄駅周辺、松島地域）の道路や用水路のわき、駐車場などに落ちていたペットボトルやたばこの吸い殻などのゴミを拾いました。特に燃えるゴミは袋いっぱいになるほどでした。来た道を折り返して大学へ戻る道すがら、「自分たちで清掃をしてきれいになった道を歩くのは気持ちがいい」と話す学生もいました。引き続き、大学周辺地域の美化活動に貢献していきたいと思います。

大学生災害ボランティア研修会

ボランティアセンター長 田並 尚恵

7月19日(金)に大学生災害ボランティア研修会を実施しました。参加者は、学生9名と教員3名の12名でした。今回は、日本赤十字社岡山県支部のボランティア指導者4名を講師に招き、HUGというゲームを通して避難所運営の疑似体験をしました。震度6の地震が発生したと想定し、避難してくる人たちが過ごせる場所、物資や設備を置く場所をグループで話し合っていて決めていきます。高齢者や障害者、乳幼児のいる家族、インフルエンザに罹った人がいる家族、ペットのいる家族などが次々とやって来ますが、ゆっくり考える時間のない状況で配置を決めるのは結構大変でした。最後に振り返りを行い、配慮や工夫が必要な点を確認しました。短時間でしたが、発災後の避難状況について多くのことを学ぶ機会となりました。



花壇の花植えに参加して

保健看護学科 越智 ゆいか

ボランティアセンターでは花壇の花植えを活動の一環として行っています。今年は6月と12月に実施しました。2階プラザ前の花壇にパンジーなどの花を植えて、自然を感じられるような環境を作っています。学生のみなさんが、教室移動や昼休憩に見て、自然を感じたり、きれいな花を見てリラックスしたりすることができていたらいいと思います。

医療福祉学科 藤原 拳冴

暑い夏間近ということもあって、花壇には草がたくさん生えていました。花壇の草取りからの活動でしたが、普段草取りなどする機会もないため新鮮な気持ちでした。花は見栄えが良く見えるように意識して植えることができました。これからの夏を彩ってほしいと思います。夏の暑い中での花植えは初めて参加しましたが、終わったあとは清々しい気持ちになりました。また、機会があれば花植えボランティアに参加したいと思いました。



大学ボランティアセンター交流会に参加して

医療福祉学科 河原美樹

初めての大学ボランティアセンター交流会で緊張していましたが、他大学の方々が優しく接して下さったので楽しく交流会をすることができました。他大学の方々の活動内容や情報共有などを意見交換しました。自分たちが取り組んだ事のない活動を知ることができたり、同じような悩みに共感し対策を考えたりと貴重な体験をすることができました。また、様々な人とのつながりをつくることができました。新しい発見をすることができたので今後の活動にも活かしていきたいです。今後も他大学のボランティアセンターの方々と交流することができたらいいなと感じました。



おにぎりアクション 2024 に参加して

医療福祉学科 柳井 夢月

この取り組みに参加したのは今年初めてでした。「おにぎりを撮って載せる」ことは決して難しいことではないため、たくさんの方に知って頂きたいなと思いました。おにぎりに関する写真を1枚投稿するごとに、給食5食分に相当する100円が協賛企業から寄付されます。そのため、もっとたくさんの方にこの活動を広めていきたいなと感じました。これからも参加出来るボランティアは積極的に参加していきたいと思います。



おにぎりアクションとは・・・

おにぎりに関連する写真をSNSに投稿すると、企業を通じてアフリカ・アジアの子どもたちに、写真1枚につき5食分の学校給食が届きます。

盲導犬育成募金に参加して



保健看護学科 山下瑞菜都

募金活動中に、実際に盲導犬ユーザーの方とお話する機会もありました。目が不自由な方にとって、一緒に生活する盲導犬の存在は大きいものだと感じました。ユーザーの方のお話の中で、私が印象に残ったのは、盲導犬を1頭育成するには高額な費用がかかることから、盲導犬の数が減少していると話されていました。普段目が不自由な方の話を聞くことはあまりないので、とても貴重な時間となりました。今回の募金活動を通して、自分の視野を広げることができ、募金をしてくださった方にも盲導犬について情報を提供することができました。少しでも多くの人に知ってもらえればいいなと思いました。



医療福祉学科 柳井 夢月

今年も学園祭での盲導犬育成募金に参加させていただきました。昨年と同様にユーザーさんとたくさんお話をさせていただいて勉強になりました。実際、盲導犬が少なく育成する人材がいないことを学びました。私たちにはどうすることもできませんが、募金活動をする事で少しでもお力になれると思い活動しました。盲導犬の鼻の良さや、記憶力の良さに驚きました。来年度も参加出来たらいいなと思っています。



医療福祉学科 大石翼

今回の盲導犬育成募金は、雨が降って天候はすぐれない中、たくさんの方に募金していただきました。私は、今年で2回目の参加になるのですが、この募金活動を行うとたくさんの人の暖かさを感じます。私にとっては、10円や100円は、すごい大金です。なので、普段の買い物で100円の商品を買うのを躊躇うこともあります。でも、この活動では、その大金を盲導犬育成のために、募金してくれるという人が多くいます。それを見て、自分のためだけでなく、他人や他者のために募金できる人がたくさんいることに暖かさを感じるのです。そして、私もこういった社会的意義のあることを主体的にできる人になりたいと、活動を通して考えました。

ボランティアセンターの紹介

ボランティアセンターでは、主に学生へのボランティアの紹介を行っており、ボランティアをしようと思った多くの学生が利用しています。また、ベルマーク、使用済みインクカートリッジの収集なども行っていますのでご協力をお願いします。学生もスタッフとしてその整理やその他様々な活動をしています。

ボランティアセンターの学生スタッフの活動

●シャッター押します隊

入学式、卒業式に記念写真の撮影のお手伝い

●インクカートリッジの回収（ベルマーク運動）

使用済みインクカートリッジの回収、メーカーごとに分別

●古切手、ベルマークの回収

回収した切手を「誕生日ありがとう運動本部」に送付

●花植え活動

●盲導犬育成募金



ボランティア情報を知るには・・・

パソコン・携帯からポータルサイトのボランティア情報をご覧ください。詳細は7階ボランティアセンターにも掲示しています。ボランティア活動の申し込みもボランティアセンターで受付をしています。

編集後記

今回の「ボランティアセンターだより」は学生スタッフが作成しました。色々な方々にボランティアセンターの活動を知っていただけたようにと思いを込めて作り上げました。現在、学生スタッフは少人数でボランティア活動を行っています。この記事を読んで少しでも興味を持ってくださると幸いです。

『多くの方にボランティアセンターで活躍する学生スタッフのことが知ってもらえるように。』

そんな願いを込めて・・・

学生スタッフ 河原美樹・柳井夢月

川崎医療福祉大学ボランティアセンター

■開所時間 : 月曜日～金曜日 9:00～16:00 (土日祝日は閉館)

■住所 : 〒701-0193 岡山県倉敷市松島 288

川崎医療福祉大学 北ウィング7階ボランティアセンター

■E-mail : volunteer-center@mw.kawasaki-m.ac.jp

■TEL(代表) : 086 - 462 - 1111 (内線 54725)

■TEL(直通) : 086 - 464 - 1543

■URL : <https://w.kawasaki-m.ac.jp/center/volunteer/>

ホームページ
QRコード



Instagram



@KUMW_VOLUNTEER